

## 厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）

### 分担研究報告書

#### 拠点病院の指定要件に関する意見交換会

研究分担者	谷水 正人	四国がんセンター統括診療部	病院長
研究協力者	力武 諒子	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部	研究員
研究協力者	市瀬 雄一	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部	研究員
研究協力者	角和 珠妃	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部	任意研修生

#### 研究要旨

令和4年度での改訂を目指すがん診療連携拠点病院等の整備指針の改定に向けて、がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループのメンバーとともに意見交換会が行われた。現行の整備指針における課題を検討した上で、整備指針全体での議論後に各指定要件についての議論を進めた。

議論を通じて、現在のがん対策に即した課題について論点を整理することが重要であるということが確認された。さらに、各専門家との議論を経て、指定要件の細部についても議論が必要であることが確認された。今後は、1つ1つの指定要件についての議論を重ねていき、全体の整合性を検討しつつ議論を進めていく必要性を確認した。

#### A. 研究目的

がん医療の均てん化は、がん対策基本法第2条で定められた基本理念の一つとして定められており、その一環として、がん診療連携拠点病院等の整備が進められている。平成30年7月31日施行のがん診療連携拠点病院等の整備に関する指針は、4年ごとの見直しが行われており、新型コロナウイルスの影響を受けたものの、次回の改訂は、令和4年夏頃を目指している。

がん対策推進基本計画が進められてきており、整備指針の設立当初とは、がん医療を取り巻く状況は異なってきているため、現状の課題を整理しつつ、現在の資源等も考慮に入れた上での新たな整備指針を検討する必要がある。本研究では、がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ（以下、拠点WG）での意見交換会を重ね、現状の指定要件の課題について議論し、改訂に向けた方向性を検討することを目的としている。

#### B. 研究方法

上記の目的のために、拠点WGの参加者に対して、課題の抽出、議論、論点・視点の整理を実施した。

現状把握のためにアンケート調査を実施し、指定要件にかかわる課題の抽出を実施した。抽出した課題を元に、拠点WGの参加者（資料1）とともに意見交換会の場を設け、抽出した課題について議論をし、指定要件の在り方および方向性について整理を行った。

全4回（各回約2時間程度）の意見交換を行った。

#### C. 研究結果

意見交換会では、がん診療連携拠点病院等の整備指針の在り方についての総論に関する議論を実施した。総論の概要は、拠点病院はどのような役割を担うか、都道府県拠点や地域拠点等の相互関係、都市や地方における地域間格差等について検討をした。

さらに、各指定要件についても検討を行った。概要は、地域拠点における高度型の在り方について論点を整理した。高度型の目指すべき姿や、どのような役割を担っているかについて再度議論を行った。また、指定要件内で取り扱われる「望ましい」とされる要件や、がんボードについて、要件内での何を表すのかという定義について検討をした。その他にも、放射線治療や病理診断の診療体制、AYA世代に対する診療体制の整備についても検討を行った。

#### D. 考察

各分野の専門家である拠点WGメンバーとともに総論についての議論をまず深めた。本意見交換会が目指す先を共有することで、円滑な議論を進めることができた。また、まず、指定要件にかかわる全体部分について議論を進めることで、方向性を定めながら進めることができた。

拠点病院の役割に関しては、がん対策基本法が施行された当初の状況と、現在のがん対策を取り

巻く状況が変化していることを認識することができた。例えば、我が国で多いがんは、胃がん、大腸がん、乳がん、肺がん、肝がんの5代がんであったが、現在は、膵臓がんも増えてきているため、現状に即した要件を検討する必要性を認識した。

また、各指定要件に関しては、各専門家からの意見を取りまとめることで、現在の要件の問題点や検討すべき方向性について議論をした。例えば、AYA世代への支援に関しては、院内がん登録を用いたAYAがんの症例数や、専門家による他研究班の知見を合わせて議論を実施した。

今後は、各指定要件について一つ一つ丁寧に議論を進めていく必要がある。一通りの論点について議論した後には、全体での整合性についても改めて議論が必要だと思われる。

## E. 結論

拠点WGのメンバーとともに、がん診療連携拠点病院等の整備指針更新に向けて、議論を実施した。現在のがん対策に合わせた見直しが必要なことが示唆された。今後は、既存の指定要件に関する議論だけではなく、追加が必要な項目についても議論を進めていく必要がある。

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

1) 青儀健二郎 谷水正人 四国がんセンターにおける経営学的観点からみたがん化学療法施行上の問題点 日本医療マネジメント学会雑誌 第22巻第1号 29-33 2021

2) 谷水正人 青儀健二郎 下井辰徳 加藤雅志 若尾文彦 中釜 斉 抗がん剤外来治療は採算性が確保されていない ―全国がんセンター協議会加盟32病院の外来通院治療と入院治療の粗利額比較分析― 日本医療マネジメント学会雑誌 第22巻第4号 183-188 2022

### 2. 学会発表

なし

## H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

資料1 がん診療連携拠点病院等指定要件に関する意見交換会 名簿（敬称略）

WG 委員	大西 洋	国立大学法人山梨大学医学部 放射線医学講座 教授
	久保 祐子	公益社団法人日本看護協会 看護開発部 部長
	小寺 泰弘	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授
	鈴木 直	学校法人聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授
	田村 恵子	国立大学法人京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座緩和ケア看護学分野 教授
	津端 由佳里	国立大学法人島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 診療教授
	藤 也寸志	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 院長
	早坂 由美子	公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 理事
	東 尚弘	国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター センター長
	増田 しのぶ	学校法人日本大学医学部 病態病理学系腫瘍病理学分野 教授
	増田 昌人	国立大学法人琉球大学病院がんセンター センター長・診療教授
	松本 陽子	NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長
拠点班代表者	若尾 文彦	国立がん研究センターがん対策研究所 事業統括
分担・協力者	高山 智子	国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部 部長
	伊藤 ゆり	大阪医科薬科大学研究支援センター医療統計室 室長・准教授
	太田 将仁	大阪医科薬科大学一般・消化器外科 レジデント・大学院生
	坂根 純奈	大阪医科薬科大学一般消化器・乳腺外科医療統計室 大学院生
	市瀬 雄一	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 研究員
	角和 珠妃	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 任意研修生
	新野 真理子	国立がん研究センターがん対策研究所がん登録センター 研究員
	松木 明	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 特任研究員
	力武 諒子	国立がん研究センターがん対策研究所医療政策部 研究員